

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度 第3回川西市障がい者自立支援協議会		
開催日時	令和6年2月14日(木)午前10時~午前11時20分		
開催場所	キセラ川西プラザ 文化棟2階大会議室		
出席者	委員 (敬称略)	船木会長、佃委員、篠木委員、小泉委員、田中委員、神谷委員、東端委員、渡邊委員、熊手委員、林本委員、森田委員、松山委員、川瀬委員、今谷委員、松本委員、斎藤委員、岡坂委員、井上委員、木山委員、北田委員	
	その他 (敬称略)	(欠席) 秋山委員、田中委員、横道委員、 (傍聴) アソシア・ソーシャルサポート川西 福本、市 障害福祉課 野中 社会福祉協議会 高田	
	事務局	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会 上中 ・ 前田	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議事報告 (1)各専門部会からの報告 (2)令和6年度以降の新規事業について (3)検討部会の立ち上げについて (4)その他 3 閉会		
会議結果	別紙のとおり		

審 議 経 過

事務局	<p>本日は大変お忙しい中、令和5年度第3回川西市障がい者自立支援協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日、欠席の連絡をいただいておりますのは、川西市身体障害者福祉協会 秋山さま、伊丹健康福祉事務所 横道さま、川西さくら園 田中さまです。</p> <p>欠席者3名、出席者20名 過半数のご出席をいただきましたので、本会は成立となります。</p> <p>それでは、開会のご挨拶を会長よりお願いいたします。</p>
会長	<p>皆様には日頃から障害者施策の推進に協力をいただき、また本日はお忙しい中、自立支援協議会にご出席をいただきありがとうございます。今年初めての会合ということで、ご存知の通り能登半島地震が起りまして約一月半経ちましたが、専門家を除いてはまだボランティアの数も入ることができず、やきもきするような状況が続いています。</p> <p>テレビ等で伺える範囲では、現地の障がい者はよそに行く不安から現地に留まる方もいれば、二次避難で遠方の施設に入る方もいらっしゃる。関係者の方も残って支える方、一緒に県外に出られる方もいらっしゃるということで大変ご苦労されています。</p> <p>そんな姿を見ながら、我々は他人事だと思わずに非日常時も含めて障がいがある当事者や、ご家族、そして支援するものにとって何が必要か突き詰めて考えていかなければならないと改めて思いました。</p> <p>本日は令和5年度最後の協議会のため、各専門部会からの報告や、市の新規事業についての説明、新プランについての説明、新たな検討部会の立ち上げ等を議題としております。また、その他として時間をとりますのでご意見や問題提議があれば頂きたいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>ここからは船木会長に議事、進行をお願いしたいと思います。船木会長よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>お手元の次第に添いまして、議事を進めてまいります。第1項各専門部会からの報告。こちらを各部会長からお願いします。順番は、1番相談支援部会、2番こども支援部会、3番精神障がい者部会の順番で発表して頂きます。こども支援部会は、田中委員が欠席ですので、事務局が代理で報告をさせていただきます。全ての報告が終了した後、質疑などに入らせていただきます。</p>

審 議 経 過

	<p>それでは、相談支援部会長 渡辺委員よりお願いします。</p>
委員	<p>令和5年度の相談支援部会の報告をさせていただきます。【資料1-1読み上げ】報告は以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続きましてこども支援部会の報告を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>代読させていただきます。【資料1-2読み上げ】以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。続きまして、精神障がい者支援部会部会長、林本委員より、お願いします。</p>
委員	<p>令和5年度精神障がい者支援部会の報告をさせていただきます。 【資料1-3読み上げ】</p>
会長	<p>ありがとうございます。各部会からの報告が終わりました。報告内容について、ご質問やお気づきの点など何かございませんか。</p>
委員	<p>よろしいですか。補足じゃないのですが、相談支援部会の報告でも少し触れましたが、市内就労系福祉事業者のリーフレット作成についてです。川西市内ではこの3、4年で就労移行支援事業所やA型、B型が続けて開設しています。</p> <p>利用者にとっても、市内に福祉事業所が増えることで選択肢が増えつつありますが、川西市では事業所間の情報交換をする場がない状況であったため、昨年1月より定期的にB型事業者の連絡会や就労移行、A型事業所、委託相談支援事業所とも合同で連絡会を実施し、事業所の課題などを出し合ってきました。</p> <p>その中で開所して数ヶ月経っても利用者がいないとか、同じ相談員が紹介してくれる、事業者のことを知ってもらう機会が少ないなどの課題が挙がっていました。また相談支援事業者も年々増えてきている状況ではありますが、相談員の情報量、経験年数や川西市での勤務年数などにより、利用者への情報提供に選択肢の差が出ているのではないかと感じることもありました。計画相談が必須の状況の中、相談員の情報量などにより利用者の選択肢が狭まるのは本末転倒でありますし、また長年近隣</p>

審 議 経 過

	<p>市町の相談支援事業所で相談されている利用者も同様で、年齢を重ねるごとに距離のあるところへの通所利用が厳しくなって、自宅近隣で作業所を検討したいが、相談員が川西市の情報に偏りがあるため、マッチングがうまくいかない等あり、これらの課題を解決するため、まずは相談員の情報量を一定に保ち、マッチングがしやすいように川西市の資源マップではないのですが、就労系福祉事業所リーフレットの作成を進めることになりました。川西市では就労系の部会がまだなく、現状では相談支援部会の中のワーキングの扱いになっております。</p> <p>そのため今回のリーフレット作成に際し、発行元を自立支援協議会（就労系事業所連絡会）の名前で作成を進めたいと考えておりますが、皆様よろしいでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>今説明がありました発行元について、自立支援協議会の（就労系事業所連絡会）という名前で、リーフレットを発行させていただきたいということです。何か意見や確認したいことはないでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>リーフレットの内容、イメージはもう出来ているのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>できてきている段階です。</p>
<p>委員</p>	<p>今回は、見本を皆さんに提示する、発行できているという状況でしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>発行できている状態だと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、今の補足ではなく、全体を通してですが、今進められているものはそのまま、進めていただいているのかなと思っているのですが。阪神北東域障害者等相談支援コーディネーターという役割で、兵庫県から受託を受け、猪名川、三田、宝塚、川西、伊丹の相談支援体制の構築というのが県から委託の内容で、その中で相談支援体制、自立支援協議会、市町の体制づくりのバックアップというのが私の業務内容になっております。</p> <p>圏域内の協議会や各部会に参加しながら必要があればサポート助言等を行っている役割において、少し感じるのが、協議会が一昔前に比べると活性化して部会も動き始めていて、色んな取り組みがされているのです。</p>

審 議 経 過

会長	<p>が、協議会の趣旨に沿って動いているのかと感ずることがある。というのも動かさなければいけないということで、例えば名簿づくりだったり、行政がやらないといけないことを協議会でやってはいないか、本来事業所が努力しないといけないところを協議会としてやっていないか。協議会の成り立ちというのは、相談支援専門員が現場に入って個別支援をやっていく中で、利用者や、本人だけの課題や問題ではなくて地域が抱える問題だよ、じゃあ地域で何とかしないといけないね。というのを部会にあげて、協議会に。例えば、物価の高騰とかで、家賃が上がってきて、本来設定された生活保護の金額だと、もうこの地域に住めないというのは個人の問題ではなくて、地域の問題である。</p> <p>何とかしないといけないっていうので、例えば部会に、不動産屋や、都市計画課に入ってもらったり、また市営住宅公営住宅をうまく活用できないかっていうのをみんなで検討していくような。あくまでも本人が地域生活で困っているのを相談員が把握した上で、この人だけじゃなくて地域全体の課題っていうもの。川西市だけじゃなくて、圏域を回って、この課題テーマは、事業者が困っているんじゃない？というものが結構見受けられた。</p> <p>これはどこもそうなのですが、やらないといけないので、何とかづくりをしようとかイベントを開催しようとか、事業者の困り感なのか、じゃなく、あくまでご本人やご家族が既存のサービス制度ではサポートできないということがいくつも挙がってきてその人たちだけでなく、こういうバックグラウンドに置かれてる人たちはみんなそうだ。制度以外に何とかしないとできないとやっていくものなので、拝見していて、これ誰が困っていて、誰の課題解決になっているのか、気になる点はあった。川西市にお住いの当事者やご家族が困っているところを、解決するために取り組んでいくので、テーマという書き方より、具体的なケースで困っている方がいて、この方だけでなく、同じような環境に置かれる方は皆さん制度の隙間などに困っている。なのでこういうことをしましょうと、方向性を意識するものかなと。</p> <p>近年部会で積極的に動いているけどこういうのを整備しないといけない。これって行政が必要と感ずていることを協議会でやっているのか、私も判断が難しいところです。ご本人、ご家族の課題解決に向けて次年度から意識して、課題に挙げることでどんなふうにいきづらさとか地域生活が変わってくるのかイメージができるようなものになればいいかと思いました。</p> <p>ありがとうございます。他に何かございませんか。</p>
----	---

審 議 経 過

委員	<p>では、ご提案、ご指摘いただきましたようにどういった考えでいくかということを中心に部会でも本会でも留意しながら、取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>先程意見がでましたリーフレットの件ですが、発行元の名称を自立支援協議会就労系事業所連絡会という形で発行を進めていきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは第2項令和6年度以降の新規事業についてご報告を委員よりお願いします。</p> <p>新規事業という事で、障がい者プラン2029とパブリックコメント、市民の意見と議会の意見を総まとめにした物をお配りさせていただいてこれに沿って令和6年度以降の新たな事業の部分をご説明させていただきます。</p> <p>【重点施策項目について説明】(資料2-4-p71読み上げ)</p> <p>それ以外の新規事業ですが、障害福祉だけではなくて各関係課でやっていただいているところもございますので、ご紹介させていただきますが、時間がかかってしまいますので省略しながらご説明させていただきます。</p> <p>基本目標1</p> <p>【地域のネットワークづくりの推進について説明】</p> <p>基本目標2</p> <p>【障がい者の雇用・就労支援拠点の創設について説明】</p> <p>基本目標3</p> <p>【親なき後をみんなで支える「オーダーメイド」支援プラン制度」の推進について説明】</p> <p>基本目標4</p> <p>【障がい児に係る相談支援体制の充実について説明】</p> <p>ありがとうございました。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。報告内容について、ご質問、ご意見などございましたら、お願いします。</p>
委員	<p>さっきの件と重複するのですが、色んなところの協議会に参加して活発化しているけれども、私自身もちょっと判断が難しく法的に根拠があるのか県の方も確認しながら進めていきたいと思っています。私が見ている阪神北圏域でも、ある市町は3つの部会があつて6つか7つの検討会議が立ち上がっています。一見するとすごく動いているように見え、例</p>

審 議 経 過

	<p>えば、トライやる・ウィークで中学生が、福祉と触れ合うことで将来の福祉人材にと。その期間、委託や協議会でやってください。これは誰がやりたいと望んでいることなのか。本人やご家族の事例で困っていることからあがってきているのか。例えば行政がどこかでやりたいことなのに、や委託相談が対応に追われ忙しくなって本来どうなのか。これ福祉計画だと思いますが、委託とか基幹にやってちょうだいというわけではないと思うのですが、ただ他市を見ていると3つ部会が回って5つぐらい検討会が回っており、どうみてもちょっと忙しい。ある市ではこの部会が、検討部会を1個だけ設けて、拳がった課題を検討して、やる必要があるんだったら、チームを組んでやろうと。こども部会、精神部会、就労部会、相談部会とか立ち上げるのですが、ある市では一回全部やめて、検討部会1個にしよう。そこで検討して本当にやるべきだったら取り組もうという風に、阪神北領域においても1個しか部会がないところと、3つ部会があって、5つか4つの検討会を回すのに追われているところもあつたりと、何が正解なのか、もちろん各市町や地域の実情に応じてやっていく形になるので、必ず全部が同じようにやらないといけないうことではないですが、改めて協議会とか部会では、何に基づいて何を協議しないといけないうのか、皆さんも一緒に考えていくのがいいのかな。協議会として、本来やるべきことは何なのか。ここで協議したいことは何なのかを、私はもうちょっと国や県の確認を取りながら、何か一つの道筋が見えたら、また報告、提案させていただければと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にどなたか。いいですか。 次の検討部会を立ち上げについて、前回の全体会議の際に人材の不足などご意見が出てきました。 それを元にアンケートを実施して、運営会議で協議をさせていただきました。詳細について渡辺委員より説明をお願いします。</p>
委員	<p>アンケートのご協力ありがとうございました。構成員23名、取り組みに関して賛成意見が17名ですので、検討部会の立ち上げの方向で考えていきたいと思っております。 アンケートの中でご意見、課題をいただいております。まずは仮ですが、福祉人材作業部会という名前を立てています。質と量、両面が課題という意見をいただきました。アンケートを実施した結果、作業部会を設置し、課題解消に向けた取り組みを検討するのが目的です。 期間ですが、6月までに今回いただいたアンケートを中心に課題にどう</p>

審 議 経 過

	<p>取り組んでいくか、何が課題なのかというところも検討させていただきたいと思います。その上で短期目標、長期目標という形で設定を行えたらいいと思います。</p> <p>6月の自立支援協議会で何をするか報告をさせていただきます。これが第一クル的な感じで考えています。何をするかによって構成員を変更させていただいて、第二クルに入っていきたいと思っております。</p> <p>構成員ですが、障害福祉サービス事業所の代表、相談支援事業所の代表の方、障害福祉課の代表の方、当事者関係の代表、ハローワーク、学識経験者、基幹相談で、その都度テーマに応じて必要なメンバーでと思っております。作業部会の設置を行いたいと思います。構成委員に関して何かご意見ございますでしょうか。</p>
会長	いかがでしょうか。
委員	<p>構成委員に関して障害福祉サービス事業所を入れるのは、もう少し検討した方がいいかと思っています。というのも、4月以降、福祉サービス報酬の見直しを行っている。その中の一つとしてグループホームでは障がいの重い方に対する報酬が上がって、軽い方に対して報酬が下がります。プラス今までどおり受け入れをするのですが、さらにひとり暮らしの支援もして、一人暮らしを支援するのであればこれだけつめますよというのが出ています。どういうことかということ、今後グループホームはなるべく重い方を受け入れて、軽い方は単価を下げ、一人暮らしをするごとにお金を払うからひとり暮らしできるように支援してくださいね、という流れになっています。例えばグループホームの数が今後増えていくかということ、人口が減少していけば、障がいを持った方も減少していき、本当に重い人だけはグループホームだけど、それ以外はなるべく一人暮らしとか地域で生活できるようにしてねっていう風な国の方向を前提に置いて、グループホームも淘汰されて減っていくとなってきたときに、グループホームの職員が集まらないから増やしてくれ、職員のもっと集まるようにしたいという課題に全部答えていくのか。福祉も間違いなく人材不足に対しては何とかしていかないと、進めたほうがいいとは強く思う。早い段階で事業所を入れてしまうと、本当にそれが本人や家族の困り感と直結するのか、事業所を助けるためにやるのではなくて、障がいの軽い人を地域生活で、となった時に不動産屋だったり、ヘルパーや訪問看護など、地域に出ていく人たちのひとり暮らし支援をやっていくヘルパーの数が圧倒的に足りないよっていうことだったら、理解できるがここでグループホームが入ってくるのはどうなのかなと、今一</p>

審 議 経 過

会長	<p>度、構成メンバーをその課題を第1クールでしっかりと検討した上でやっていった方がいいのかなという風に思いました。はい以上です。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。他の方どうでしょう。今のご意見に対してでも結構ですそれ以外でも結構ですけども。</p>
委員	<p>委員がおっしゃる通りだと思います。</p>
委員	<p>実態としては市内のガイドヘルパー自身も減っています。居宅のヘルパーもまた少ない。特に重度の方の対応。その部分は色んなアンケートでも明らかになっており、早急に対応する必要があると思っています。今回このようにやっていただくというのは、利用者にとっても非常に重要なものではないかなと思っています。以上です。</p>
委員	<p>これはあくまで素案なので、皆さんご意見いただいたらいいかと。</p>
委員	<p>例えば何人を想定しているとかは。</p>
委員	<p>何も想定してないあくまで素案です。入りたいとかいう方もいらっしやったら一番ありがたいです。</p>
委員	<p>別のところで、お仕事でということではないですが、福祉関係のボランティアってその人の生活を支えるための仕事という形じゃなくて参加願っている。専門の方の立場に立つと、生活を支える報酬をいただかないと続かないですね。それを考えると、仕事の量っていうのはある程度逆計算してこれくらいないと、もたないっていう数字があると思う。予測ですね。次に対象とされる方がどれくらいおられるのか。将来増えるか減るかも大事な要素です。それ考えると、ただ人を集めて、報酬が賄えるだけの介護のお仕事を維持できるのかどうか。お給料の裏付けがないと働いてもらえないという状況があると思います。何を重点にやるか。要するに、総花的にみんなやればいいという話ではないという気がします。今やっているボランティアさんへ頭を下げて対応してもらっているが、10年先は利用がもっと減ると思っているけど、これはわかりません。だから、今居るメンバーが続けてくれば、10年は保つかなと思っているんです。</p> <p>でも、本当は人を入れていかないと長くはできないですね。ずっとボランティアでもそんな悩みがあります。だから、これは職業のやっている方に対して求めている話でしょうから、それは予測をしっかりとしない</p>

審 議 経 過

委員	<p>と駄目なんじゃないかなという気はしています。すみません。</p> <p>とても大切な話が、例えば当事者がこれくらいの人数がある。でも、事業者の数はこれだけしかない、受け入れずに困っている。</p> <p>じゃあ、ここはサポートして増やさないと本人も困っているし、やれば届いてないところが空いてきて、お給料増える。でも、必要としている利用者がこれくらい。事業所の数がこれくらいあって、要はお客さんが足りない、払う給与が少ない。だから人は集まらない。何とかしてくれ。ここは多分淘汰されていって、悪いところは潰れて、良いところが残っていてぴったり。ここをちゃんと把握してやらないとただ事業者全部を集めて、こう、サポートしますよ。ではないのかなっていう。更にそもそも利用者がこれだけしかいない。</p> <p>例えば、医療的ケアを必要とする方の数が少ないから事業所がやっても、給与を払えない。数が少なすぎてどこもやらない。でも、これは生きる権利として人が少ないからやらないとかじゃなくて行政は考えていかないといけない。ただ等しく事業者を集めてどうのというよりしっかりとそれって本当に必要なのか協議をしていかないといけないなということ今聞いていて思いました。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
委員	<p>私、専門援助部門って言いまして、障がいのある方のお仕事の相談とか紹介をさせていただいて、それと同時に障がいのある方を雇いたいっていう会社のご相談とか求人を受け付けさせていただいています。自立支援協議会に専門援助部門として参加をさせていただいて、今回の立ち上げされる福祉の人材の作業部会ですが、先ほどからどういう目的にして、こういう会を立ち上げるかという話が出ていると思うのですが、ハローワークでは部門がいろいろありまして、人材確保、福祉人材の確保というのは、全国のハローワークで重点課題になっていまして、運転手とか警備とか、含めてですけれども、人材確保のために特別に窓口があるくらいです。で、ハローワークがこちらの部会に参加させていただくとしたら、人材の確保をメインにされるのであれば、私が所属しているが専門援助部門より一般のお仕事を探している、健常者の方の仕事を紹介する職業、相談部門ってというのがございます。例えば福祉問題の面接会をしたりですね。福祉職を探している求職者の方に、介護の初任者研修実務者研修とか実務者研修を無料で受けられる職業訓練をあっせんさせてもらっているの、もしこの作業部会が立ち上がるということで</p>

審 議 経 過

会長	<p>あれば、こういう目的でということを入ローワークに教えていただくと、それにふさわしい部門から参加させていただきたいと思います。ご参考をお願いいたします。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございます。是非ですね。相談させてもらっていいですか。</p>
会長	<p>はい。よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>他にご意見ございませんか。頂いた意見をもとに検討をさせて頂こうと思います。</p> <p>それではその他という事で。なんでも結構でございます。何かございますか。</p>
会長	<p>令和6年4月から開校されますカリヨンの丘特別支援学校について、なかなか詳細を把握しきれてない部分がありますのでもしよければ大枠で大丈夫なので、共有させてもらえればと。</p> <p>はい、今いただいたカリヨンの丘支援学校についてですが、何かご存知の範囲でお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>失礼します。よろしく申し上げます。川西カリヨンの丘特別支援学校が令和6年4月1日から開校されます。</p> <p>そこに行く児童、生徒さんですが、居住地が川西市と猪名川町にお住まいの方です。現在、こやの里特別支援学校に通っている児童・生徒に転学の希望を取りましたが、デイの問題があったり、バスの問題など、ご家庭によって問題点があり、経過措置を取り、数年かけて居住地の川西・猪名川地区の児童生徒たちが行かれるというような形になります。こやの里特別支援学校分教室は、令和6年度の1年生が川西カリヨンの丘特別支援学校分教室1期生。2年生、3年生はこやの里特別支援学校分教室の9期生10期生が同じところで学ぶというような形になります。3年かけて完全に川西カリヨンの丘特別支援学校分教室へ移行、この3年は、両方の学校の分教室であるという形になり、場所は猪名川高校の場所をお借りすることは変わらないです。</p> <p>川西カリヨンの丘のほうが近くなり、施設設備も充実していますので、授業もそちらに行って職業的なことを学ばせてもらうことは考えています。簡単ですが、お返しします。</p>

審 議 経 過

会長	はい、ありがとうございます。他に何かございませんでしょうか。
委員	質問だけしていいですか？ 今のカリヨンの丘は川西市と猪名川町に住んでいる人が主に対象でしょうか。
委員	そうです。分教室については、受験資格は今まで通り、4市1町です。ただ入試を受けて、うちの方が定員をオーバーして、入試が不調に終わった場合には、居住地の支援学校の方にいく形になります。川西、猪名川に住んでいらっしゃったらカリヨンに行って、伊丹市、宝塚市、西宮市塩瀬地区にお住まいの方は、こやの里の方に行っていただくという形になります。
委員	その辺が分教室というのがわかりにくい。猪名川高校にあるこやの里の分教高等部1年は、川西カリヨンの丘特別支援学校分教室。2年生3年生は、こやの里特別支援の分教室で1年ずつ上がっていく。
委員	高等部に関しては、ややこしいのは、川西カリヨンの丘で高等部を受けるけど、居住地が先の話。もしその分教室に入れなかった時は、例えば伊丹とか宝塚の人はこやの里の本校に行くということになるということですね。
委員	はい。
委員	川西と猪名川に関しては、カリヨン分教室とカリヨンの丘の本校と2つ完結しているという事ですね。
委員	そうですね。
委員	最初に言われたのは、小学部・中学部で、特に久代、加茂で事業所を使っている方もおり、保護者が卒業まではこやの里でと、場所が一番北なので、事業所も変わるということになると、事業所さんも相談支援も大変。卒業まではこやの里でというやりとりをされていると思う。
委員	そうですね。そこが、経過措置という形になっています。
委員	将来的にはじゃあ、経過措置がなくなるということですね。

審 議 経 過

委員	そうですね、はい。
委員	放デイとかもそうですよね。
委員	そうです。
委員	今はこやの里の近くに迎えが来るなりして、事業所にそのまま行けるからいいけど、途中で変わってしまったら、事業所が、「あそこまでは迎えにいきませんよ」と、じゃあ卒業まではと、親もそのまま変わらない状況で見てほしいと
委員	そうですね。事業所が、今もこやの里にずらっと並んでいすよね。
委員	並んでいますけど、そのようなことも解消するためにカリオンを作ったが、放デイでいうと、南部に事業所があったりすると、送迎だけで1時間ぐらいかかるので、これまでの事業所が使えなくなる可能性がある。それも蓋を開けてみないと、どうなるか分からないから、なかなか答えを出しにくく、また微妙に現状と違うかなと思います。
委員	今後は川西、猪名川の人たちは確実に川西カリヨンになるから、この近辺に放デイとか事業所も分散されるであろう そこまでの事ではないですけど
委員	かなりやりとりがあったかと想像していましたが。北部の開発というのは、川西市にとってもこれからすごく重要なところですよ。学校もそっちにできますしね。
委員	そうですね。
委員	4月になったらこのメンバーで見学会とかしてもいいですか。
委員	また学校長の方に確認を。
委員	関係者が行っていないですよ。かなりの設備がすごく整っている、例えば手を洗う場所で手を洗っても水が出てくるのは当たり前ですけど、すぐ消毒も泡にしてくれたりとかまた、建物も最新だったりとかするので、今後の参考になるかな。

審 議 経 過

委員	川西市として自慢できる話ですよね。
委員	川西が手を上げて、場所がいいとか悪いとかありますけど、川西に誘致できたというのは大きいかなと思います。
委員	ぜひ見に行かせてください。
委員	こちらこそ。
会長	他になにかありますか。よろしいですか。以上で本日予定しておりました議事も含めて終了しました。事務局から連絡事項等はありませんか。
事務局	事務局からです。次年度に向け、各機関で現在協議されていることや課題となること、共有をしていただけることなどがございましたら、事務局までご連絡をお願いいたします。また、次年度の全体会議は6月、10月、2月で予定しております。ご多忙の中、日程の調整などお手数をおかけいたしますが、ご出席のほどよろしくをお願いいたします。お車でお越しの方は駐車券の減免処理を行いますのでお声かけください。以上になります。
会長	これをもちまして、令和5年度 第3回川西市障がい者自立支援協議会を閉会いたします。ありがとうございました。